

対象年度	平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	中小企業資金融資対策事業					予算事業名	中小企業資金融資対策事業費
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			07	01	03	1102	経常経費
	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)					事業の区分	主要事業
	3-3活気にあふれた商業の振興(商業)						
	②にぎわいのある商業の振興					担当課係等	商工観光課
	2中小企業経営支援(商業)						商工振興係
事業期間	継続(昭和50年度～年度)						
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
市内中小企業の事業資金の円滑な調達により、経営の安定を図ることによって、地域経済の活性化を促進する。				市内商工業振興のため開始され、県内すべての市町村が市町村金融制度を実施している。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
①結城商工会議所に対し業務委託し、中小企業者と融資に関する相談・指導を行い、調査を行う。②結城市中小企業資金融資あっせん条例に基づき、審査委員会を開催し審査を行い、資金のあっせんを行う。③融資あっせんが認められた中小企業者に対し、保証料の補給を行う。④市内金融機関に対し、融資資源の一部として預託を行い、低利融資を実現させ、中小企業の経営や成長を支援する。⑤中小企業の返済が不能となった場合の補償として、保証協会と損失補償寄託契約を締結する。				市内中小企業者			
				【事業をとりまく環境の変化】			
				平成25年4月1日に結城市中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正(自治金融における運転資金の限度額を500万円→1,000万円及び、保証期間を5年→7年に拡大)中小企業者等をめぐる金融経済情勢は、景気が低迷していることから厳しい状況にある。加えて東日本大震災の影響で受注の減少、消費の減退により売上高や利益率が大幅に減少している。このため運転資金や設備資金等の資金繰りが悪化していることから、公的低利な資金融資への期待が非常に高くなっている。			
【平成31年度 事業内容】		【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】		
①商工会議所に対し業務委託する。②結城市中小企業資金融資あっせん条例に基づき、審査委員会を開催し審査を行い、資金のあっせんを行う。③保証料の補給を行う。④市内金融機関へ預託を行い、低利融資を実現させる。⑤中小企業の返済が不能となった場合の補償を行う。		①商工会議所に対し業務委託する。②結城市中小企業資金融資あっせん条例に基づき、審査委員会を開催し審査を行い、資金のあっせんを行う。③保証料の補給を行う。④市内金融機関へ預託を行い、低利融資を実現させる。⑤中小企業の返済が不能となった場合の補償を行う。			①商工会議所に対し業務委託する。②結城市中小企業資金融資あっせん条例に基づき、審査委員会を開催し審査を行い、資金のあっせんを行う。③保証料の補給を行う。④市内金融機関へ預託を行い、低利融資を実現させる。⑤中小企業の返済が不能となった場合の補償を行う。		
■事業費							
		H29年度	H30年度				
財源内訳	国庫支出金	0	0				
	県支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他	8,001	9,001				
	一般財源	6,821	8,369				
歳入計(千円)		14,822	17,370				
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)				
	13 委託料	500	500				
	19 負担金補助及び交付金	5,822	7,270				
	21 貸付金	8,000	9,000				
	22 補償補填及び賠償金	500	600				
歳出計(千円)(A)		14,822	17,370				
伸び率(%)			17.19				
備考	総合計画104ページ 予算書127ページ						

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	あっせん件数（審査件数）	件	目標	47.00	44.00	44.00
	金融審査会を開催し審査を行う。		実績	49.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	融資額	千円	目標	235,000.00	220,000.00	220,000.00
	審査後、本申請となった中小企業に対して融資を行う。		実績	299,630.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	中小企業の経営安定化を図るため必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	国・県の制度に準拠する形で条例も制定している。
	手段の妥当性	A 妥当である	融資の審査にあたっては、金融審査会を開催して、融資内容を審議している。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	事務量に大きな変化はないが、件数が増えると比例して事務量も増加する。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内の中小企業が対象になっている。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	事業の成果はすぐに反映されないためどちらともいえない。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	審査会を毎月定期的に開催している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
資金あっせん事業は、足腰の弱い中小企業者等を資金面で支援することにより、産業振興や経済的自立度を高めるうえで大変有効な施策となっている。また、中小企業者等が信用保証協会に支払う保証料の補助することにより、事業者負担の軽減を図っている。経済情勢に大きく左右され中小企業者等の資金繰りは、依然厳しい状況にあるため、今後も推進していく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
本事業は、中小企業の資金繰りを安定させ経営を支援する施策として有効である。地域経済の低迷により資金繰りが厳しい状況にあることから、本事業の必要性は高い。今後も経済情勢や中小企業者等のニーズを的確に把握し、信用保証協会及び金融機関等との連携を密にして利用しやすい制度にしていく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>社会経済が回復してきているが、中小企業はまだ厳しい状態が続いているため引き続き支援していく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>